

はじめに

冬の気持ちよい青空をたくさん拝むことができたこの1月。雪が降らない寂しさを持ちつつも、澄み渡る空と雪被る山々の景色には心惹かれ、思わず眺めてしまいます。雪が少ない状況ではありますが、留学生にとっては十分な活動フィールドになっていて、毎日のように「外行ってきます」「雪遊びしてきます」と雪を堪能しています。

センターでは毎朝、朝のつどいを行っていて、ラジオ体操や気温の確認をしています。帰村してきてからは「今日の気温は -2° Cです」「今日は -6.5° Cです」とマイナスの気温の世界が毎日ですが、「この寒さにも徐々に慣れてきた」と利賀村に適応しつつある留学生たちです。また、毎日気温を確認しているため「昨日よりも寒くないな」「だいたい今日は -2° Cぐらいかな」と自分の肌感覚で気温を感じられるようにもなっています。

1月14日にホームステイ家庭のある阿別当地区と坂上地区の左義長に参加させていただきました。地域の方には準備しながら留学生に話しかけてくださり、また、「今年から来たあの子はたくましくなったね」「去年からいるからあの子はやっぱりしっかりしているね」などお褒めの言葉もくださいました。改めてよく留学生のことを見てくださっているなと実感できる機会となりました。温かい見守りをいつもありがとうございます。

2期生の修園まで早いもので残り2か月ほどとなりました。あっという間に去っていく3学期なので、寒さに負けず、雪を楽しみつつ、時間を大切にして利賀での時間を過ごしていってほしいと思います。

地域の方々をはじめ日々お世話になっている皆様には、2ヶ月後の修園に向けて引き続きご指導ご鞭撻のほど、 よろしくお願いいたします。

山本 将寬



1月

9日 帰園

10日 雪遊び

11日 アルペンスキー①

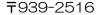
12日 クロスカントリースキー①

14日 左義長(阿別当・坂上地区)

15日 アルペンスキー②

21日 クロスカントリースキー②

22日 スポ少スキー



富山県南砺市利賀村坂上 18 南砺利賀みらい留学センター TEL: 0763-77-4103 FAX: 0763-77-4037

> MAIL: nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp WEB: http://www.nanto-toga.com/



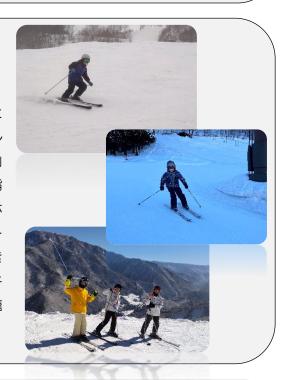


1/10 雪遊び

帰園した翌日に早速雪遊びをしました。今年から導入された巨大そりが人気で、「4人で乗るぞ~!」と何人かで乗り合わせて楽しそうに滑っていました。他には鏡餅の雪像を作っていたり、ひたすら地面を踏み固めていたり、雪洞を掘ったりと思い思いに時間を過ごしました。また、今後のアルペンスキーの活動に向けてちょっとした斜面でスキーにも挑戦していました。初めてスキーを履く留学生は、初めは転んでばかりでしたが、練習を繰り返すうちに転ばずに斜面を滑り降りることができるようになりました。

1/11・15 アルペンスキー①・②

楽しみにしていた留学生も多いアルペンスキーの活動。1回目と2回目はタカンボースキー場へ行き、4つの班に分かれて滑りました。「スイスイ滑れるようになりたい」「〇級を目指して練習したい」などそれぞれ目標を持ち、班ごとに練習しながら技術の向上を目指しました。スキーが初めてだった人も、初日からリフトに乗り、林道などを滑り降りることができました。昼食は鍋いっぱいのカレーライスを皆で完食し、リフトの上からは良い景色も見ることができました。2回目の15日は、午前中の悪天候が午後には好転し、午後のみ活動することができました。「スキーに行ける!」と聞いて嬉しそうな留学生たち。短時間でも集中して滑り込んでいました。







1/14 左義長

坂上地区と阿別当地域に分かれ、小正月の行事である左義長に参加しました。日中は正月飾りをやぐらに飾ったり、足元に積もった雪を踏み地面を平らにならしたり手伝いをしました。 夕方は点火の役割を任せられた子がやぐらに火をつけ、火が大きくなると持ってきた書き初めを焚き上げ、「高く上がったから、字が上手くなれるね!」と喜んでいました。その後は、周りで餅を焼きました。センターから持っていた餅では足らず、地域の方からもお餅をいただき6個も食べた子も。たくさんいただき、今年も無病息災で過ごせそうです。



一人ひとりの書き初めが、名前を読みあげられ高く舞い上がっていた ことが記憶に残っています。その後に食べた「病気にならなくなる」と いわれている、すすだらけのお餅もけっこうおいしかったです。

(里歩)

1/12・21 クロスカントリースキー①・②

クロスカントリースキー1回目の活動は、スノーバレー利賀で行いました。初めて体験する留学生はかかとが浮く感覚に苦戦していましたが、練習するにつれ慣れて、自由に動けるようになっていました。斜面を登って、滑り降りることを何度も繰り返していたり、そり遊びをしていたり、ゲレンデ中腹まで登ったりと個々でやりたいことに取り組み、楽しんでいました。





2回目の活動は百瀬を出発し、ロンレー子ども村へ。天気も良く、誰も踏み入れていない新雪を「気持ちいい!」と叫びながら 45 分ほど歩きました。途中、蛾の繭や動物の足跡を発見し、「これ何だろうね」と話す姿もありました。ロンレー子ども村に着いたら、そこで自由に遊ぶグループと山頂を目指すグループ2つに分かれ時間を過ごしました。そして疲れてきたころに弁当を食べ、エネルギーを蓄えて岩渕の方へ下りました。滑っては転び、を何度も繰り返していたのでみんな雪まみれになっていました。

百瀬から岩渕までの行程はやはり雪深く、新雪でただの靴ではまともにあるけないほどでした。だからこそ圧雪されていることやスキーの沈まずに歩けることのありがたさを感じました。たくさん転んで大変でしたが、景色の美しさや弁当のおいしさに感激しました。

(哲平)

1/22・23 体験留学の様子

今回は3名の体験留学生が利賀へやってきました。夕方に到着すると、積雪に目を見張り、一緒に来た保護者と「すごい雪だね!」と言い合っていました。自己紹介の後、数名の留学生と一緒に早速雪遊びへ。「ここに良いコースがあるよ!」と留学生も嬉々として教えながら、そり滑りなどを楽しんでいました。その後、夕食や掃除などを共に過ごし、翌日は学校へ。短い時間ですが、授業を通して地元の子どもたちとも交流しました。



〈 日常の様子 〉



時間があれば、 センター裏で雪遊び!

百人一首大会に 向けて特訓!!





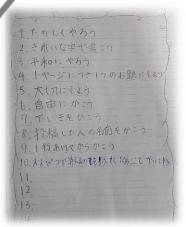
ドキドキの班替えのくじ。 1班になるか2班になるか…

スポ少スキーでは、 ポールコースで練習!



留学生の掲示板「 3.2 チャンネル 」 が

3 学期より始まりました!



「日常の出来事をつぶやける掲示板のようなものが欲しい」という声から、ページの頭にみんなに聞きたい質問を書き、それに対して自由に回答を記入していくノート(掲示板)を留学生たちで作りました!その名も「3.2 チャンネル」。「3.2」には、山村留学・みらい留学の山とみの「3」、2 期生の「2」という意味が込められています。始まって2週間ほど経ちますが、なかなかの盛況を呈しています。

《発案者より》



シマヘビの皮を見つけたことを誰かに伝えたくて、それで掲示板みたいなものが欲しいなと思いました! 完成して嬉しいです。 みんなに自由に書いてもらい、楽しんで欲しいです!!

くき爺のつぶやき・・・

昨年暮れの四日間、子どもスキーキャンプのお手伝いに出かけた。長野県大町市にある育てる会野外活動センターに泊まり、近くのスキー場に通ったのだが、かつて子どもの頃に短期や長期の山村留学に参加していた高校生や大学生が大勢お手伝いにきていた。三日目には「年末休暇になったから」と社会人になった子もかけつけた。彼らは早朝から遅くまで子どもたちの活動や生活をサポートし、食事の準備やスキー用具の片付けも手伝

い、嬉々として動いていた。ゲレンデに向かう車に同乗した高校生は「ここには自分たちの家のようなもの、ここに来るとほっとする」と話してくれた。子どもたちの消灯時間が過ぎてからは、かつて寝食を共にした仲間や指導員が旧交を温めるほのぼのとした時間があった。南砺市の山村留学は始まったばかりだが、あと5年、そして10年もすれば、利賀村もこのようにかつて参加した子どもたちが集うふるさとになるのだろうか。



統括主幹 山本光則